【阿智村】 1人1台端末の利活用に係る計画　　2025年6月

項目	内容
①1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿	「主体的対話的で、深い学び」を、ICTを利用して実現するために授業では、生徒が自ら知りたい、学びたいと思えるような導入を重視し、 ①個人学習、ペア学習、グループ学習など多様な形態での学習を進められる ②学習の共有場面では、プレゼンなどができるICTツールを利用して、発表や学習の共有ができる ③遠隔交流、遠隔合同授業、海外交流、自宅や別の場所からの授業参加ができる ④学習の振り返りなどにICTツールを利用し、教師が個々の学習状況を把握したり、支援したりできるとともに、児童生徒が自らの学びを評価し学習を調整していく力をつけていくことができる 授業以外でも、生徒会や児童会の活動、文化祭、学習発表会等において、ICTツールを利用して、委員会やグループ内の活動のまとめ、発表などを行うことができる また、タブレットを家庭に持ち帰ることで、ICTツールを利用しながら、教師から出された課題解決、予習復習、デジタルドリルの活用等ができる
②GIGA第1期の総括	1　GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備 ①1台当たり2Mbps以上の通信速度を確保するネットワーク環境整備 ②教師を含む1人1台の端末整備 ③学習に利用できる大型提示装置（大型テレビ、電子黒板）整備 2　GIGAスクール構想の実現に向けたシステム、アプリ整備 ①学習用として、Microsoft 365 Education、Google Workspace for Education、スマイルネクストの導入（一人一人のMicrosoftアカウント、Googleアカウント整備） ②統合型校務支援システム（C4th）の導入 3　GIGAスクール構想推進のための取組 ①学校教育専門主事ICT担当の配置 ②各校ICT教育担当者会の設置（現在は学力向上委員会に合併） ③学校教育専門主事ICT担当による各校訪問とICT活用指導 ④年2回の阿智村全教職員参加のICT研修会の実施 ⑤年1～2回のICT活用状況調査と分析 ⑥各校におけるICT活用推進計画の作成と実施 ⑦ICT関係情報の随時発信（校長会、教頭会、ICT教育担当者会、ICT通信など） 4　成果と課題 【成果】 ①授業におけるICT利用についてはICT活用状況調査により年々向上してきたことがわかる ②児童生徒の学習における端末利用、持ち帰り学習などが進んできている 【課題と対策】 ①教師の指導でのICT利用は向上してきているが、児童生徒による利用は教師の指示によって行われているため、自由に利用できるための授業改善に取り組みたい ②小学校6校（平谷小学校を含む）における同学年内のリモート学習を進めてきた。現在は交流学習が主となっているので、今後合同リモート授業などを行い、実施回数を増やしていきたい ③これからの学校教育には、GIGAスクール構想推進が必須であると理解してもらえない教職員やICT活用に消極的な教職員もおり、研修や校内での支援体制をつくって改善していきたい
③1人1台端末の利活用方策	1　授業での学習利用 ①端末による学習解決のための情報収集 ②アプリによる他の児童生徒の考えや解き方の共有 ③掲示アプリを使って全児童生徒の意見、作品、解答などを見て、感想、評価 ④デジタル教科書、デジタルノートを利用して学びの自由進度化とポートフォリオ化 ⑤振り返りを、「Webアンケート」→「集計表アプリ」→「個人の振り返り」のようにシステム化することで、教師の評価を加えながら自分の学びを振り返り、自分の学びをつくっていく ⑥他校や海外校、教室に参加できない児童生徒がリモートを使って交流、授業参加 2　授業以外での利用 ①家庭に端末を持ち帰り、教師からクラウドツールによって出された課題解決したり、学習用ツール（デジタル教科書、デジタルドリルなど）を使って予習復習したり、自分の興味関心のある分野をサイトなどを利用して学習したりする ②教科外の活動で、クラウド内にグループ内サイトを作成して活動をまとめたり、プレゼンアプリを利用して発表を行ったりする これらの教育利用においては、5年前に整備された1人1台端末の老朽化による不具合、使用する中でのトラブルを未然防止するための更新整備を行い、引き続き1人1台端末環境を維持することが必要である